



モリボンドⅡ アルミニウム用ジンケート処理剤（ノーシアン三元合金）

Moriko Electroplating Materials Inc.

1. 用途

モリボンドⅡはノーシアンタイプのジンケート処理剤です。モリボンドⅡの前処理で各種アルミニウム素材表面に亜鉛・ニッケル・鉄の三元合金皮膜が形成され、密着性の良好なめっきができます。

2. 特長

- モリボンドⅡでジンケート処理することによって各種アルミニウム素材に三元合金皮膜を形成し、シアン化銅ストライクをしなくても、直接ニッケルめっきすることができます。
- モリボンドⅡの前処理でアルミニウム素材に密着性良好なめっきができます。
- モリボンドⅡはシアン化物を使用していないため、廃水処理が容易です。

3. 性状

外 観：澄明な緑色の強アルカリ性液体、わずかな特異臭あり。

比 重：1.38－1.43

毒・劇物取締法：医薬用外劇物、水酸化ナトリウム含有

4. 使用方法

- 使用濃度は原液を2倍希釈して下さい。ただし、原液でも使用できます。
- 浸漬時間の標準は30～40秒です。浸漬時間の範囲は10～60秒です。
- 均一な置換膜を得るために揺動または回転させて下さい。
- タンクの材質はブチルゴム、ポリプロピレンライニングタンク等で、オーバーフローの液循環またはプロペラ攪拌を行って下さい。
- 異物の付着をさけるため、常時ろ過を行って下さい。
- 前段の処理液の持ち込みと後段への持ち込みをさけるため、水洗は充分に行って下さい。

5. 標準処理工程

アルカリ脱脂	市販のアルカリ脱脂剤をお使い下さい。		
↓ 水洗			
エッチング	20~30%硝酸または 水酸化ナトリウム	30~50 g/L	35~45℃ 1~2分 40~55℃ 20~120秒
↓ 水洗			
スマット除去	活性酸 A2	100~150 g/L	室温 30~100秒
↓ 水洗			
ジンケート処理	モリボンドⅡ	400~1000ml/L	室温 10~60秒
↓ 水洗			
ジンケート剥離	35~45%硝酸		室温 10~30秒
↓ 水洗			
ジンケート処理	モリボンドⅡ	400~1000ml/L	室温 10~60秒
↓ 水洗			
めっき			

6. モリボンドⅡの処理能力

モリボンドⅡの処理能力は、アルミニウム素材と製品の形状、浸漬時間等で変わりますが、300 dm²/L 程度の処理が可能です。総処理面積が 300 dm²/L になると浴性能が低下しますので再建浴をして下さい。

補給の目安として 30 dm²/L 処理ごとにモリボンドⅡの原液を 30ml/L 補給して下さい。溶出するアルミニウムイオンが増すにつれて、めっきの密着性が低下します。溶存アルミニウムの許容量は 5~7g/L です。ICP 等でモリボンドⅡの溶存アルミニウム濃度を分析して下さい。

7. 廃水処理

本製品を廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）の特別管理産業廃棄物（廃アルカリ）に該当します。また、毒物及び劇物取締法、水質汚濁防止法の排出基準に抵触しますので、これらの法に準じて廃棄する必要があります。

8. 取り扱い上の注意

モリボンドⅡの取り扱いについて

- 作業場は局所排気装置を設けるか、換気の良い場所で取り扱って下さい。
- 作業時は安全めがね、マスク、ゴム手袋、長靴、エプロン等の保護具を着用して下さい。
- 強い酸性物質との混合は危険です。
- 眼に入った場合は、直ちに水で数分間注意深く洗い、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに皮膚を流水又はシャワーで洗い、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、口をすすぎ、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 作業後は手洗い、うがいを行って下さい。
- 容器からこぼれた場合は、保護具を用い希酸（塩酸、硫酸等）で中和した後、乾燥砂、ウエス、おがくず等に吸収させて空容器に回収して下さい。

9. 荷姿

20kg 入りダンボール箱（内容器 20kg 入りポリ容器）

森幸鍍金材料株式会社

本社 〒105-0003

事業本部 〒143-0003

Moriko Electroplating Materials Inc.

東京都港区浜松町 2 丁目 12 番 9 号

東京都大田区京浜島 2 丁目 2 番 3 号

TEL : 03-3790-1081 / FAX : 03-3790-8556